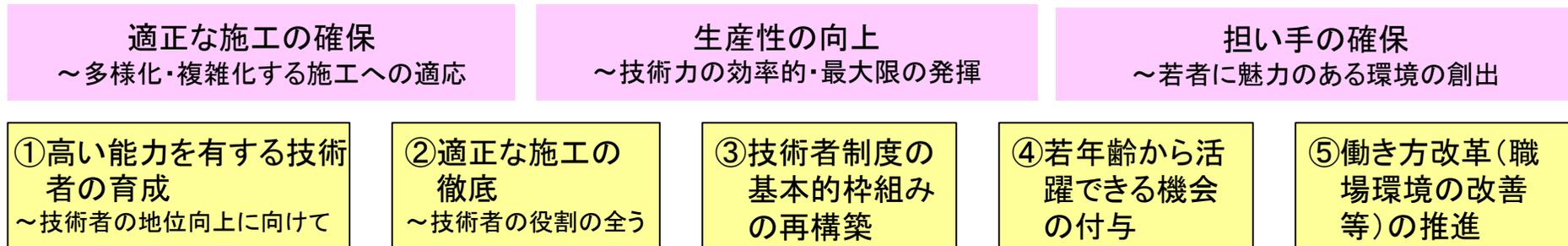


# 今回の検討会の位置付け

---

# 適正な施工確保のための技術者制度検討会の位置づけ

## 適正な施工確保のための技術者制度検討会（H29とりまとめ）における施策の方向性



H30～R3法令改正・運用見直し  
 （特例監理技術者制度創設、  
 技術検定試験制度改正など）

**未対応課題**

## 適正な施工確保のための技術者制度検討会（第2期）

**早期に実現を目指す施策の具体化に向けた検討**

技術者制度全体に関わる議論が必要となる  
 中長期的な課題についても順次継続して検討

# 施策の具体化に向けた検討の概要

## 前期検討会で議論された主な課題

### ①高い能力を有する技術者の育成

- ・新たな技術検定の創設
- ・継続的な技術者の技術研鑽

### ②適正な施工の徹底

- ・技術者登録制度の拡充
- ・技術者個人に対する罰則規定の創設

### ③技術者制度の基本的枠組みの再構築

- ・技術者の配置・専任要件の見直し
- ・特例監理技術者制度、専門工事一括管理施工制度

### ④若年齢から活躍できる機会の付与

- ・受検機会創出に向けた実務経験年数の緩和
- ・技士補制度の活用

### ⑤働き方改革(職場環境の改善等)の推進

- ・監理技術者のサポート体制の充実
- ・企業集団の技術者の更なる活用

## 技術者制度に関する現況

### ○担い手確保・育成への懸念

- ・建設業入職者数の減少
- ・高齢化の進行

### ○IT・通信環境の進展

- ・施工管理業務の効率化
- ・リモート環境による業務の拡大

### ○生産性向上を求める意見

- ・技術者配置要件の緩和要望
- ・技術者資格取得要件の緩和要望

技術者制度の現況を踏まえつつ、課題のうち早期に実現を目指す施策の具体化を検討する。